

産学官連携共同研究の形成を目指して

テクノインダストリー・スクエア 富山

北陸地区大学・公設研究機関の先端技術のご紹介

北陸地域において産学官連携による創造的、先端的研究開発を推進し、新産業・新事業を創出し、地域経済の活性化に貢献するための総合的なプロデュース活動を実施しています。

今回、活動の一環として世界をリードする高度産業基盤構築に繋がる材料開発や機械システムに係わる北陸地区大学・公設研究機関の先端技術シーズを企業の皆さまにご紹介する「テクノインダストリー・スクエア 富山」を開催いたします。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

日時： 平成20年 2月15日（金）13:30～16:30
（受付開始13:10）

場所： 富山県民会館

講演会 : 302号室

個別相談会 : 303号室

〒930-0006 富山市新総曲輪4番18号

TEL 076-432-3111

参加費： 無料

主催：(財)中部科学技術センター
(財)北陸産業活性化センター

後援： 中部経済産業局

(財)名古屋産業科学研究所

(財)科学技術交流財団

(財)三重県産業支援センター

(財)石川県産業創出支援機構

(財)東海産業技術振興財団

(財)岐阜県研究開発財団

(財)富山県新世紀産業機構

(財)名古屋都市産業振興公社

(予定)

KERIN



競輪補助事業

プログラム

1. 開会挨拶

13:30~13:40

(財)中部科学技術センター 専務理事 近藤 靖彦

2. シーズ発表

13:45~14:15 「簡便に再生・再利用できる工業化に有効な抗酸化型 Pd(0) 錯体触媒の開発」
富山大学 大学院理工学研究部 ナノ・新機能材料学域 教授 會澤 宣一

電子デバイス産業に於いて重要性が増してきた有機導電性半導体ポリマーや有機液晶材料等の合成に有用である Pd(0) 触媒は、溶存酸素に対し極めて不安定であることと、その再生・再利用が困難であることがコスト面及び環境面から工業化の大きな妨げになっている。本研究では、抗酸化力が極めて高く、再生・再利用が簡便に行える半永久的に使用可能な低コスト、環境低負荷型ホスフィンフィルド Pd(0) 錯体触媒の開発を行い、製品化の目途を付けることを目標とする。

14:15~14:45 「X線による鋼の非破壊硬さ測定技術の開発」

石川県工業試験場 機械金属部 主任技師 鷹合 滋樹

機械部品における硬さとX線波形（ピークの拡がり半幅）との相関性を明らかにし、加工変質層の影響を解明する。現在までにX線の半幅幅と硬さに相関があることがわかり、また、測定条件および装置の基本的な仕様が確立できた。今後は、①実製品に対する応用事例をさらに増やし、理論的な確立を目指すこと。②ハード（装置）面において簡易型のX線発生装置、検出器の試作を行うことが課題となっている。

14:45~15:15 「ステンレス鋼製流し台や調理台を腐食させない食器用洗剤」

福井工業大学 工学部 機械工学科 教授 羽木 秀樹

食器用洗剤がステンレス鋼製流し台や調理台に付着した状態で数日間放置しておく、赤錆が発生し、流し台などの製造メーカー・鉄鋼メーカー・建築業者に責任が問われることがある。食器用洗剤によるステンレス鋼の腐食の原因は明らかでなく、その原因の究明と、腐食防止対策の確立が必要である。本研究では、腐食機構を解明するとともに、腐食が起らない食器用洗剤の組成を提案する。

15:15~15:30 休憩

15:30~16:00 「非磁性金属板に対する交流アンペール式磁気浮上原理と適用可能性」

富山大学工学部 電気電子システム工学科 准教授 大路 貴久

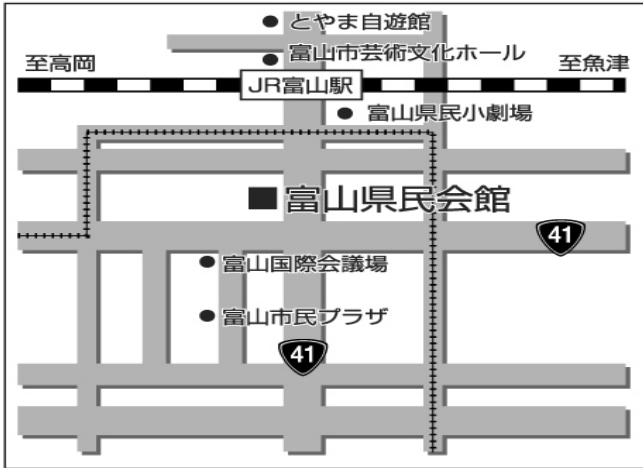
非磁性金属薄板を磁氣的に非接触浮上する方式として、従来の誘導反発方式が渦電流により大量の熱が発生するが、本研究では交流ローレンツ力浮上力発生法により搬送物の加熱を抑えつつ浮上力を高める効果を実証している。本研究では、この効果を利用してアルミニウム、マグネシウム、銅等の非鉄軽金属の中でも、特に需要の大きい薄板や箔材を非接触浮上させ、レール軌道上を磁気支持搬送するシステムを構築するものである。

16:00~16:30 「既存橋梁の最適補修管理システムの開発」

福井工業大学 工学部 建設工学科 准教授 谷脇 一弘

実験計画法の直交表に従い、予め設定したパターンの橋梁を構成しているパーツの健全度および橋梁の健全度に関するアンケートを点検維持管理専門技術者や橋梁管理者に対し実施。ニューラルネットワークや実験計画法の手法を用い、専門技術者の思考回路を模式化した意志決定法を確立する。さらに、橋梁の劣化がマルコフ過程に従うものと仮定し、点検結果より得られた健全度より橋梁の劣化を予測する推移確率を導入し、この推移確率を用いて期待総ライフサイクルコストを予測。数理計画法の方法を用いてライフサイクルコストを最小化する最適な補修戦略の決定方法を確立する。

会場案内



アクセス

JR北陸本線「富山」駅から
徒歩7分、
または同駅から地鉄バス
「市役所前」バス停下車徒
歩1分

参加申込・お問い合わせ先

1. 下記参加申し込み用紙で、事前(2月13日(水)まで)にFAX又はEメールでお申し込み下さい。
2. 当日、参加票の代わりとしてお名刺を頂戴いたします。

【お問い合わせ先】

- ・(財)北陸産業活性化センター 〒920-0981 金沢市片町2丁目2番15号 北国ビル2F
TEL 076(264)-3001 FAX 076(264)-3900 E-メール: mail@hiac.or.jp
- ・(財)中部科学技術センター 〒460-0008 名古屋市中区栄2丁目17番22号
TEL 052(231)-3043 FAX 052(204)-1469 E-メール: info@cstc.or.jp

産学官「テクノインダストリースクエア 富山」参加申込書

(財)北陸産業活性化センター 行 TEL 076-264-3001
E-メール: mail@hiac.or.jp FAX 076-264-3900

会社名(機関名)	
所在地:(〒 -)	
(ふりがな) 参加者氏名	所属部署・役職
ご連絡先部署	TEL FAX
ご担当者氏名	E-メール